

和8年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>○「自立と社会参加」をめざし、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した授業を実践する。</p> <p>○自分も他者も大切にし、共感的な人間関係を育成する教育活動を実践する。</p>	<p>①授業準備の時間を確保し、教育的ニーズに応じた授業の質の向上を図るため、教育課程を見直す。</p> <p>②ICT機器を活用し、児童・生徒一人ひとりが「できる」「わかる」を実感できる授業の実践と共有を行う。</p>	<p>①適正な総授業時数を踏まえ、行事や教育課程、年間予定を見直し、令和9年度開始に向けて教育課程を改訂する。</p> <p>②ICT機器の活用により、児童・生徒が「できる」「わかる」を実感できる授業を実践する。 ICT活用の好事例を校内で共有する。</p>	<p>①授業準備の時間を確保できる教育課程に改訂できたか。</p> <p>②授業後に生徒自身が「できたか」「わかったか」について簡単にアンケート評価。好評価が増えたか。 共有したICT活用の好事例が増えたか。</p>
2	児童・生徒 指導・支援	<p>○一人ひとりの教育的ニーズを捉え、根拠に基づいた組織的な指導・支援の充実を図る。</p> <p>○教育活動全体で人権尊重の視点に立ち児童・生徒が安全で安心して過ごせる学校づくりに取り組む。</p>	<p>①本人の実態およびニーズ、保護者のニーズを踏まえ、重点課題に基づく目標および支援内容を簡潔に記載し、指導に活用できるよう、個別教育計画の書式の見直しを図る。</p> <p>②児童・生徒自身が互いの良さを認め合い、人権意識を高めるための学級経営の仕組みを構築する。</p>	<p>①令和9年度開始に向け、個別教育計画の書式及びスケジュールを見直す。</p> <p>②児童・生徒が人権意識を高めるための学級目標をたて、実践するとともに、学期ごとに振り返る。</p>	<p>①本人の実態およびニーズ、保護者のニーズを踏まえ、重点課題に基づく目標および支援内容を簡潔に記載し、指導に活用できる個別教育計画の様式ができたか。</p> <p>②児童・生徒が自分やお互いの良さを認める言動が増えたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>○キャリア教育の視点を持ち、児童・生徒が地域で豊かに暮らし、働くことを見据えた教育活動を展開する。</p> <p>○児童生徒のニーズや適性に応じた、自己選択・自己決定のための継続した指導・支援に取り組む。</p>	<p>①進路の手引きを整理するとともに、教員向け研修を実施し、キャリア教育にかかる学習内容の質の担保と効率化を図る。</p> <p>②進路にかかる保護者・本人への情報提供の充実を図る。</p> <p>③キャリアパスポートの作成により、児童・生徒が目標をたて、評価することを通して自分の良さに気づき、自己選択・自己決定するための支援・指導を行う。</p>	<p>①進路の手引きを整理する。 教員向けの進路研修を実施し、キャリア教育の目的の意識化を図り、それを踏まえた授業実践を行う。</p> <p>②進路説明会の説明動画をテーマごとに短く編集し、本校保護者限定の動画配信を行う。</p> <p>③学期ごとに生徒自身が目標をたて、評価できるようにキャリアパスポートを作成し、自分の良さに気づけるようにする。</p>	<p>①手引きの整理ができたか。 進路研修により教員が進路指導・支援についての理解を深め、キャリア教育を意識した授業や支援ができたか。</p> <p>②動画配信を行えたか。</p> <p>③各学部等の実態を踏まえたキャリアパスポートの作成に着手できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>○学校コンサルテーションを基盤としたセンター的機能の充実を図り、校内・地域におけるインクルーシブな学校づくりを推進する。</p>	<p>①学校の情報発信の方法を増やし、地域への学校理解をすすめる。</p> <p>②交流及び共同学習や地域資源の活用、作業学習等の地域との連携により、インクルーシブな学校づくりをすすめる。</p>	<p>①学校広報紙を作成し、HPや地域の掲示板や、回覧板で発信する。 SNSの活用により、学校の情報を地域に発信する。 見易さを踏まえ、ホームページの構成を見直す</p> <p>②作品展示や作業学習等、地域との連携できる機会を模索する。</p>	<p>①情報発信の手段や量が増えたか</p> <p>②地域との連携による活動の機会が増えたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
5	学校管理 学校運営	<p>○安全・安心な教育環境の整備に取り組む。</p> <p>○教職員の資質・指導力・専門性の向上を目指し、人材育成と不祥事防止に重点をおき、信頼と期待に応える学校運営と組織づくりを行う。</p> <p>○組織的な業務の効率化を図る。</p>	<p>①見直した学校の防災体制について、実践的訓練を通して検証し、最適化を図る。</p> <p>②ヒヤリハット報告の更なる活用により、組織的に不祥事の未然防止に取り組む</p> <p>③業務の精選を進め、働き方改革を促進する。</p>	<p>①見直した防災体制をもとに実践的訓練を実施し、更にブラッシュアップを図る。 学校運営協議会作業部会により、学校防災の整備及び地域連携について検討し、防災体制に生かす。</p> <p>②ヒヤリハットの報告と各グループや学部等での共有を更にすすめ、組織として事故未然防止につなげる。</p> <p>③会議の内容や回数を精選する。 見直したグループ業務について検証し、最適化をすすめる。 グループ業務や教材の保存方法を整理、活用できるようにし、業務効率化を図る。</p>	<p>①防災体制の見直しがすすんだか。</p> <p>②ヒヤリハット報告の共有により、各グループや学部等で、同じような事故の未然防止が進んだか。</p> <p>③規定の時間内で効率よく会議をすすめることができたか。 担当業務について効率化が図られたか。 教材や業務資料の共有がすすみ、効率化が図られたか。</p>